

山元町議会議長 阿部 均 殿

広報・広聴常任委員会
委員長 岩佐 秀一

優良市町村視察研修報告書

本委員会は、優良市町村視察研修を行ったのでその結果を下記のとおり報告します。

記

1 研修月日 令和元年8月5日（月）～6日（火）

2 研修地

- (1) 岩手県 住田町
- (2) 宮城県 女川町

3 研修項目

- ・議会広報（作成、発行、内容）について
- ・作成に係る議員と事務局の役割分担について
- ・広聴の取り組みについて

4 研修地の概要とまとめ

(1) 岩手県 住田町

○人口 約5,600人 ○面積 335 km²（総面積の約90%は森林）

○産業 林業・畜産 {ブロイラー（企業・個人）、養豚（企業）}

森林生産だけではなく、素材を生かした加工・流通・住宅流通までの一連の過程のシステム化に努めている。また、木質バイオマスエネルギー導入による新たな活用方法を推進し、先導的役割を果たしている。

まとめ

①議会だよりの編集方針

- ・「住民目線」「わかりやすい」「読みやすい」
- ・読みたくなる紙面づくり

②特色ある紙面づくり

- ・特集記事を掲載・・・一般質問後の追跡記事

- ・住民参画・・・住民との関係を大切にし、寄り添って実施している。

住民の声、意見を積極的に収集し、議会だよりに掲載しているのは、当町においても取り入れていきたい。

(2) 宮城県 女川町

○人口 約6,600人 ○面積 66 km²

○産業 漁業 {沿岸 (サンマ、ギンザケ)、養殖 (ホタテ貝、アワビ、ホヤ) }
女川漁港はサンマ、ギンザケの水揚げは全国でも有数である。かまぼこ、明太子、たらこ等の水産加工会社があり雇用確保に努めている。また女川原子力所が立地している。

まとめ

①議会だよりの編集方針

- ・読みたくなる紙面作り
どうしたら手に取ってもらえるかを考え作成している。
- ・写真 (生き生きとした)、キャプションを大事にする。

②特色ある紙面づくり

- ・見出しの工夫をする。
- ・シリーズ (復興シリーズなど) を作成、議論を重ねたものとして表現する。

③住民の声、意見収集 (公聴活動) について

- ・報告会は、議員は抽選により会場を決定している。
(年代・経験などのバランスを図り、地域にこだわらず実施している。)
- ・日時については、区長と話し合いをして各地区での行事に合わせ開催している。
- ・議員定数12人を4班編成 (1班:3人) とし、20会場で開催している。
より多くの方々から町民の声、意見を聞き、町政に反映すべく20会場で開催している。報告会、懇談会を開催する際の参考となる点だった。

委員会のメンバーは、若手だけではなく中堅 (3~4期) 議員や、ベテラン議員といった幅広いメンバーで構成されている。ベテラン議員から若手議員への適確なアドバイス等、それぞれの経験、立場から人材育成にも努めている。

今回の視察で、議員は目線をどこに向けていくべきであるかを考えさせられた。常に住民との関係を大切にし、寄り添った活動を展開した公聴・広報活動をしていきたい。